

パレスチナ解放闘争史(第二部)(1994～2020年)

―「オスロ合意」からトランプ政権時代― 2020年11月19日更新



第一章「オスロ合意」の現実(1994～1996年)

- 1 試されるアラファト暫定自治政府(PA)
- 2 「オスロⅡ」自治拡大合意
- 3 初めてパレスチナ総選挙

第二章パレスチナ民族憲章の廃棄―改訂へ(1996年)

- 1 パレスチナ自治政府(PA)樹立とPLO
- 2 パレスチナ・ガザで第21回PNC開催へ
- 3 イスラエル・ペレス政権の賭け―レバノン侵略
- 4 「パレスチナ民族憲章」改訂へ(ガザ)

第三章ネタニヤフ登場と和平の破壊(1996～1998年)

- 1 ペレスの敗北とネタニヤフの勝利
- 2 ネタニヤフ政権と「ヘブロン合意」
- 3 最終地位交渉にむけて問われる自治政府(PA)
- 4 「ワイリバー合意」と第22回パレスチナ民族評議会(PNC)

第四章「オスロ合意」の破綻(～2000年)

- 1 ネタニヤフの敗北とバラク政権の登場
 - 2 パレスチナ自治政府―批判への弾圧
 - 3 最終地位交渉の決裂
 - 4 「オスロ合意」破綻の中で
- 5 90年代をふりかえって

第五章戦乱の世紀―第2次インティファダ勃発(2000～2003年)

- 1 アラブ諸国の動き
- 2 イスラエル軍のレバノンからの敗走
- 3 アラブ世界の変化の中で
- 4 アリエル・シャロンの挑発とアルアクサ・インティファダ
- 5 和平交渉継続の努力―タバ交渉
- 6 ブツシュ政権の登場とシャロン政権の自治政府(PA)破壊
- 7 アラファト排除の陰謀
- 8 パレスチナ側の模索

第六章米軍のイラク侵略 「ロードマップ」とアラファト大統領の死(2003～2004)

- 1 米軍のイラク侵略
- 2 カルテットの「ロードマップ」
- 3 押し付けられた自治政府新体制
- 4 シャロンの「分離」政策と国際社会
- 5 イスラエル弾圧下の自治政府の再編成
- 6 自治政府(PA)の混乱
- 7 アラファト大統領の死

第七章対立と混乱、翻弄されるパレスチナ(2005～2006年)

- 1 アッバース大統領体制とイスラエルのガザ撤退
- 2 パレスチナ立法評議会(PLC)選挙―ハマースの勝利
- 3 ハマース内閣潰しとオルメルト政権

第八章ハマース政権打倒の全面化とガザ侵略(2006～2009年)

- 1 イスラエル軍のレバノン侵略
- 2 ガザ・クーデター計画
- 3 アッバース支援とアナポリスサミット
- 4 「アッバース体制」とガザ侵略再び

第九章ガザ・西岸地区分裂の固定化(2009～2011年)

- 1 オルメルト和平案から再びネタニヤフ政権へ
- 2 米国―オバマ大統領イニシアチブ
- 3 パレスチナ―挙国一致内閣の失敗
- 4 米国依存を深めるアッバース大統領

第十章「アラブの春」とパレスチナ(2011～2014年)

- 1 「アラブの春」と米欧政府の介入
- (1) 「アラブの春」と民衆決起
- (2) リビア・カタフィ政権破壊の企て
- (3) 権力闘争に収奪される民衆蜂起
- 2 「アラブの春」とパレスチナ
- (1) 「アラブの春」の歴史的位置
- (2) ファタハとハマースの統一を求める「アラブの春」
- 3 エジプト民衆革命とパレスチナ国家

- (1) パレスチナ国家を求める政治的闘い
- (2) エジプト新政権とパレスチナ
- 4 統一政府樹立とイスラエルの妨害ーガザ侵略

- (1) BDS運動ーパレスチナ統一政府樹立
- (2) イスラエル軍の侵略・空爆
- (3) 停戦・破壊されるガザーその後

第十一章「アラブの春」から宗派戦争へ(2010～2019年)

1 「アラブの春」とシリア

- (1) アサド政権の性格
- (2) アサド政権打倒のメディア戦争
- (3) 国際化、長期化、宗派戦争に向かうシリア内戦
- (4) 「イスラーム国」の登場とシリア内戦
- 2 「イスラーム国」はどのように成長したのか？
- (1) 「イスラーム国」を支援する者達
- (2) 「イスラーム国」の思惑
- (3) 対IS戦争

第十二章遠ざかる和平(2014～2017年)

1 ネタニヤフ政権の野望

- (1) 「ユダヤ化」政策の急進化
- (2) ネタニヤフ政権の野望の先
- (3) ダナルド・トランプの勝利
2. パレスチナ自治政府の現実
- (1) 「パレスチナ国家」による政治攻勢
- (2) 展望のみえないアッバース体制強化
- 3 日本政府の関り

- (1) 安倍政権によるイスラエル政策の転換
- (2) 日本の「国益外交」への転換

第十三章「オスロ合意」の正体(1993～2019年)

1 「オスロ合意」をふり返る

- (1) 広がる「オスロ合意」批判
- (2) イスラエルの狙い、アラファト派の過ち
- 2 「オスロ合意」の現実

(1) 「暫定自治」はどうなったのか？

- (2) パレスチナの首都ー東エルサレムはどうなったのか？
- (3) 従属を深めるパレスチナ経済

3. パレスチナ人の「帰還の権利」

- (1) パレスチナ難民の歴史的権利

(2) 「オスロ合意」後の「帰還の権利」

- (3) 「帰還の権利」の危機

4 「最終的地位」枠組

- (1) パレスチナ国土と「エルサレム問題」
- (2) 安全保障と入植地国境問題
- (3) 「オスロ合意」の正体

第十四章 パレスチナ国家構想（～2018年）

- 1 アラファト議長が目指した構想
- 2 「二国家共存」は可能か？
- (1) イスラエルの「二国解決」とはどのようなものか？
- (2) パレスチナの描く「二国解決」
- 3 他の解決案はあるのか？
 - (1) 一国解決案
 - (2) 語られた他の選択

第十五章 パレスチナ統一 全人民と共に

- 1 ファタハとハマースの対立
- 2 パレスチナ統一の試み再び
- 3 和平の桎梏
- 4 未来を拓く選択―全パレスチナ人の意志を問う

第十六章 トランプ政権時代のパレスチナ（2017～2020年）

- 1 トランプ政権のイスラエル偏重
- 2 イスラエルの右傾化の果て
- 3 破壊されるパレスチナ
- (1) トランプ政権の反パレスチナ政策
- (2) パレスチナの反撃―ガザ・帰還の大打進
- (3) 再びアッバースPAによるガザ絞めつけ
- (4) 民族統一を最優先とする再建を
- 4 トランプ政権の「中東和平案」
 - (1) 米国の衣装を着た「ネタニヤフ案」
 - (2) 「土地と平和の交換」から併合へ
 - (3) 反イラン同盟の一環としての「トランプ案」
 - (4) 中東和平の行方
- 5 再びパレスチナ連帯をおわりに